

いのちとところをつなぐ
私たちが大切にしたい看護の心

群馬県立病院

GUNMA PREFECTURAL HOSPITALS

心臓血管センター
Cardiovascular Center

がんセンター
Cancer Center

精神医療センター
Psychiatric Medical Center

小児医療センター
Children's Medical Center



“ともにめざす”県立病院の看護

いのちとところをつなぐ 私たちが大切にしたい看護の心

「すべての人により添い、そのひとらしさを支えられる看護」を大切にしています。この理念は、県立病院で働く仲間にもより添い、その人らしさを支える看護職の在り方も意味します。ホスピタリティ・マインドにあふれた職場づくりをともにめざしています。

群馬県立病院には、「県民の命と健康を守る」という大きな使命があります。

4つの県立病院は、心疾患、がん、精神、小児（周産期を含む）のそれぞれの分野において、他の医療機関と連携しながら、県民に安全で安心な質の高い医療を提供する専門病院としての役割を担っています。

高度専門医療を担う

心臓血管センター

大切にしたい温かな心



病院の **理念**
患者本位の医療

患者様に温かく接し、患者様の権利と安全を確保した最良の医療を提供します。

がんセンター

思いやる心でつなぐ



病院の **理念**
患者の意思を尊重

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

看護部理念

すべての人により添い
その人らしさを支えられる看護

精神医療センター

こころの時代を支える



病院の **理念**
こころの通い合う
社会の安心のために

1. 患者・家族そして全ての県民のために
2. 良き精神科医療は良き社会をつくる
3. こころの時代を支える精神科医療

小児医療センター

子どもたちの命を守る



病院の **理念**
未来ある子どもの
命のために

小児の専門病院として、未来ある子どもたちの命をまもり、すこやかな成長発達を支援します。

ともにめざす 看護職員像

県立病院の看護部は、県立病院の使命を果たすために4病院が連携し「ともに育み」「ともに歩み」「ともに高め」「ともに深め合える」看護職をめざしています。

県立病院が 求める 看護職員像

- 患者中心の看護が提供できる看護職員
- 安全で質の高い医療サービスが提供できる看護職員
- 専門職として自ら学び成長できる看護職員
- 人として豊かな感性を持ち魅力的で輝き続けることができる看護職員

魅力ある県立病院

看護部長のメッセージ

Message for You

大切ないのちを守り、患者様が主役の温かな看護を提供します。



心臓血管センター
看護部長 牛込 綾子

心臓血管センターでは、循環器看護の基礎から心臓リハビリテーションまで、幅広く学べる環境があります。急性期だけでなく、患者さんのその後の生活を見据えた看護を経験することで、確かな看護観と専門性を身につけることができます。患者さんの人生に寄り添い、対話を大切にしながら思いを受け止め、安全と安心を守る看護を私たちと一緒に実践していきましょう。

思いやりの心で、その人らしさを大切にした看護を提供します。



がんセンター
看護部長 堀越 真奈美

がんセンターでは、患者さん一人ひとりの意思を尊重し、専門的な知識や技術のもと、思いやりの心を持ってその人らしさを大切にした看護を提供しています。質の高いがん看護の提供に向けて、教育体制の充実、研究への取り組み、倫理観の醸成などに努めています。多職種によるチーム医療、地域との連携も大切にして、患者さんやご家族を支援しています。広い庭の木々や草花などに四季を感じながら、優しく温もりのある看護を一緒に実践していきましょう。

人と人の触れ合いを大切に、患者さん主体の優しい看護を提供します



精神医療センター
看護部長 高橋 真由美

精神医療センターでは、社会の多様なニーズに応じたよりよい医療を目指すと共に、豊かな人間性を身につけ、心の通い合う看護を提供しています。精神科看護では、患者さんだけでなく、家族や地域で支援してくれる人々、すべてが対象となります。多様な価値観を持つ対象に丁寧に関わるとき、自分自身とも向き合う必要があり、それは自身の成長にも繋がります。自分の強みを活かした看護を、一緒に見つけましょう。

未来ある子どもたちの^{いのち}生命をまもり、すこやかな成長発達を支援します。



小児医療センター
看護部長 福田 円

小児医療センターは、小児の専門病院として高度で先進的な周産期、小児の医療を提供しています。幅広い年齢層と難しい疾患を持つ子どもたちを対象とし、その子らしい発達を支援しながら、専門性を発揮してあたたかな心で子どもと家族を支える看護の提供を目指しています。また、看護師一人ひとりが、やりがいを持ち、看護の喜びを感じられ、個々のキャリアプランを実現できるよう看護部全体で取り組んでいます。子どもたちの未来のために、一緒に目指す看護を実現しませんか。

“ともに育む”県立病院の教育

私たちが大切にしたい教育の考え方

すべての看護職員がともに支え、学び合い一人ひとりの看護の力が発揮できる魅力ある教育をめざしています。

新人から管理職まで、【ノンテクニカルスキル研修】で、組織を良くするための問題解決の技術を学び、一人ひとりが問題解決型リーダーをめざしています。

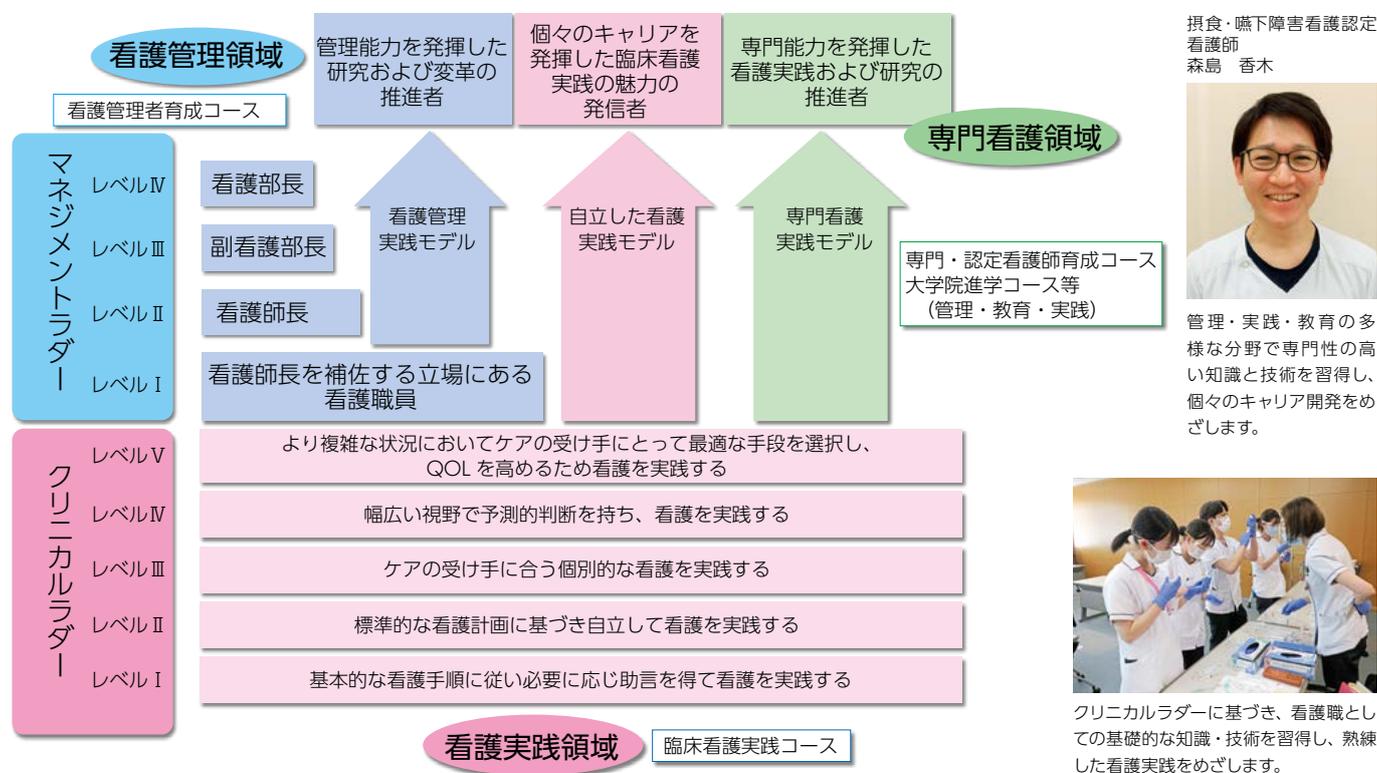
県立4病院は、「承認できる環境づくり」「ホスピタリティ・マインドにあふれた職場づくり」にも力を入れています。

各県立病院の看護部では、一人ひとりがキャリアアップをするための「教育計画」を整えています。

新規採用者は採用後6か月間の中で、県立病院の看護職員としての基礎的な力を支援を受けながら身につけます。

新人から管理職まで一貫した

看護職員のキャリア開発システム



クリニカルリーダーに基づき、看護職としての基礎的な知識・技術を習得し、熟練した看護実践をめざします。

主な教育・研修サポート

県職員研修

職位や目的に応じた研修

病院局研修

- 病院局新規採用職員研修
- 看護部共通看護管理研修
- 新規採用者研修
【採用時】【3か月フォローアップ】
- 新任看護師長研修
【就任時】【3か月フォローアップ】【総括】
- ノンテクニカルスキル研修
【新人編】【基礎編】【実践編】【管理職編】
- 中堅看護職員キャリアアップ研修
- キャリアアップ・チャレンジ研修
【看護技術・看護管理コース】
- 小規模グループ研修

各病院の院内研修

- クリニカルリーダー別研修
- 役職・役割別研修
- 経験年数別研修等
- OJTと集合教育

専門資格取得支援

専門・認定看護師等
大学院進学等の支援

県立病院の看護職員としてキャリアアップ

県立病院の看護部では、クリニカルリーダーとマネジメントリーダーのキャリアラダーを基盤とした新人から管理職まで一貫した魅力ある人材育成に取り組んでいます。

「ともにめざす県立病院の看護」をスローガンに掲げ、4病院が連携をとり、県立病院の看護職員が交流を深めながら、ともに学び成長できる教育・研修システムの開発をめざしています。



教育・研修サポートシステム

県立4病院の看護職員が連携し交流を深めながら学べる研修

看護管理(基礎)研修 / 看護職員共通研修

新規採用者

採用時・3か月フォローアップ



ノンテクニカルスキル【新人編】研修
～新人が抱えている問題を自ら解決するための技術～
問題解決は2W1Hで考える

組織的な学習

県立病院の各病院に共通する、看護部および病棟などの組織運営に必要な研修を行います。

問題解決型リーダーの育成

マネジメントリーダーレベル

I～IV共通



ノンテクニカルスキル研修【基礎編】【実践編】【管理職編】
一問題解決に必要なノンテクニカルスキルの活用の実際一
【基礎編】多職種で学ぶ問題解決する技術
【実践編】問題解決と組織変革の実際と難所の乗り越え方
【管理職編】人材マネジメントに必要な仕組みと問題解決

中堅看護職員のキャリアアップ研修

小規模グループ研修

県立病院の看護職員が組織横断的に小規模グループを編成し、今後の県立病院運営の改善等につながる共通課題に取り組みます。

主な研修テーマ

- 「承認できる環境づくり」
- 「県立病院におけるリーダーの育成」
- 「患者ケアに直接関わらない業務を依頼された看護職員が、納得して業務に取り組める職場づくり」
- 「副看護師長が人材育成につながる面談をするための取り組み～心理的安全性の高い面談を目指して～」

県立4病院で成果を共有 各部署で研修成果を活用

ホスピタリティ・マインドとは・・・

「相手のことを考えて
行動しようとする気持ち」

心

- コミュニケーションが増え、活気ある職場になる
- 気持ちよく働くことができる
- 仕事がスムーズになる
- やりがいを感じられる

ホスピタリティ・マインドにあふれた職場を目指して

組織的な取り組み

研修生の声

職場環境や立場の異なるメンバーが、個々の強みを生かし協力して県立4病院の課題に取り組むことができた。

研修を通じて深まったメンバーとの絆を大切にしたい。

県立病院の看護を
「ともにめざす仲間」

キャリアアップ・チャレンジ研修

それぞれの県立病院において、新たな専門分野の経験を積めます。自らチャレンジする意欲がある看護職員を4病院が連携しながら支援します。

看護技術コース

希望する県立病院に2年間異動し、より広い視野で実践を積みみます。

看護管理コース

所属以外の県立病院を3か月ごとにローテーションし、各病院の看護管理を学びます。



学習会：県立病院における看護管理者の役割
テーマ：自ら学習しお互いを高め合う組織作り

“ともに歩む” 県立病院の教育

私たちが大切にしたい一人ひとりの成長

県立病院の看護職員は、採用時から県職員としての自覚と誇りを持ち、看護の魅力を感じ輝き続けることができる看護職をともにめざしています。

新人看護職員の支援では、「承認行動」を基盤にし、お互いがお互いを認め合いながら、ともに成長することをめざしています。新人看護職員は、先輩看護師が常に一番近くでフォローする体制の中で、必要な知識・技術・態度を習得できます。

専門病院だからこそ 看護実践の基礎から

成長した私たち 1年のあゆみ

各病院の教育計画に沿った研修

OJTと集合研修を組み合わせた研修プログラムの中で基本的な看護技術を段階的に習得



急変時の対応も繰り返し行っています。



一人でできることが増えて確実な看護の提供ができるようになりました。

7月

3か月フォローアップ研修 ノンテクニカルスキル研修

～新人が抱える問題を自ら解決する技術～



- ・3か月勤務した中でのお互いの経験を共有しました。
- ・問題に直面した時は、2W1H (What, Why, How) で考えます。

4月

県職員 新規採用職員研修



県職員としての心構えや地方公務員制度・医療安全、感染管理などの基礎を学びました。

新人看護職員サポート体制



新人看護師
プリセプティ

実地指導者
プリセプター

プリセプター制度

先輩看護師が常に一番近くでサポートします。

全職員で 新人をサポート

3月

1年間のまとめ



ポートフォリオ発表
1年間の頑張りや成長の記録です。



仲間と学びを共有し自分の課題に向き合いました。

みんなキラリと輝く笑顔!

辛かったこと、嬉しかったことたくさんありました。
ともに学び、支え合い成長した1年です。

県立病院の充実した 新人看護職員研修

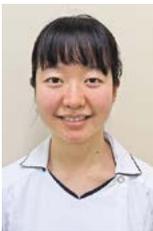
県立病院は、新人看護職員研修制度を導入し、病院全体で新人看護職員の学習支援をしています。専門病院だからこそ、看護の基礎をしっかりと身につけ、専門的な看護へとステップアップできる学習プログラムを構成し支援しています。

県立病院の看護職員として、ともに歩み成長できるよう、4病院の合同研修や交流研修も組み入れています。

安心して学べる教育計画と丁寧な支援

先輩からのメッセージ

心臓血管センター



大谷 優花 令和5年4月1日採用

私が所属する病棟は、不整脈や虚血性心疾患、心臓血管外科術後の患者様が入院しています。循環器疾患の専門的な知識を学ぶことができるため、新たな知識を得て、日々出来るが増える楽しさを感じながら働いています。忙しい中でも治療やリハビリを通して徐々に患者様が自力で動くことができるようになり、笑顔で退院される姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。入職時は分からないことが多く不安でしたが、先輩看護師の丁寧な指導に加え、何でも相談しやすいため安心して働くことができます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

Q 県立病院で働こうと思った理由を教えてください。

A 入職前は心電図や循環器疾患に対して難しいというイメージや苦手意識を持っていました。循環器の専門的な知識を学ぶことができる県立病院で働くことで、看護師としての成長や自信に繋がると思い希望しました。県立病院の病院説明会で教育体制が充実していると感じ、医療の知識や技術をしっかりと身に付けることができると思いました。

Q 実際に働いて感じた県立病院看護の魅力教えてください。

A 職員一人ひとりが患者様により良い看護を提供したいと考え行動していることが魅力です。日々カンファレンスや多職種連携を通して、患者様の治療方針や退院先について話し合い、患者家族が今後の方針を選択できるように介入しています。入院中の看護だけでなく、退院後にその人らしく生活ができるよう、サポートする大切さも県立病院に就職して学ぶことができました。

がんセンター



齊藤 優由子 令和4年4月1日採用

私の所属している6階西病棟は、消化器外科、泌尿器科、頭頸科、歯科口腔外科の混合病棟です。急性期病棟であるため忙しい反面、術後の患者さんが徐々に元気になっていく姿にやりがいを感じています。入職時は分からないことだらけでしたが、先輩方の手厚い指導を受け、沢山のことを学び、今では出来るが増えることも楽しく、充実した日々を送っています。プリセプターの先輩をはじめとし、全員が温かく成長を見守ってくれる病院です。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

Q 県立病院で働こうと思った理由を教えてください。

A 祖父が癌になったことをきっかけに癌についての知識を身に付けた看護師になりたいと考えようになりました。県立病院の充実した教育・研修システムにより看護の基礎から専門性の高い看護までを追求し、スキルアップしている環境に魅力を感じ、県立病院を志望しました。

Q 実際に働いて感じた県立病院看護の魅力教えてください。

A 充実した新人研修制度、専門的な知識を持った頼れる先輩方のもと、自分のペースに合わせた成長ができる環境です。分からないことを質問しやすい雰囲気であり、1年目でも安心して働くことが出来ます。

精神医療センター



深田 靖葉 令和6年4月1日採用

私は重症治療病棟に所属しており、救急治療病棟の後方支援として長期入院患者に対する支援を行っています。退院支援やセルフケア能力向上に向けた支援として、患者が希望や思いを表出できるよう関わり、寄り添う看護を心掛けています。精神障害を抱えながらも日常生活の中でできることが増えていく患者をそばで見守り、退院後の生活を想起しながら支援することによりやりがいを感じています。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

Q 県立病院で働こうと思った理由を教えてください。

A 私は患者とその家族に寄り添いながら質の高い看護を提供できるようになりたくて、研修制度が整っており専門性の高い県立病院を選びました。インターンや病院説明会で先輩看護師の働く姿を見学して、実際に患者に寄り添う声掛けや学び続ける姿勢を大切にしている先輩たちを知り、県立病院で働きたいと感じました。

Q 実際に働いて感じた県立病院看護の魅力教えてください。

A 充実した教育体制です。新人看護研修では基礎看護を学びながら、同期との交流もあり切磋琢磨することができました。病棟ではプリセプター制度やPNSにより困ったことをすぐに相談できるため、安心感と自信をつけながら着実に業務に携わることができました。また、チャレンジ研修などで身体科を経験している先輩も多く、新卒で精神科に配属されても幅広い視点で学べる環境だと感じています。

小児医療センター



青木 茉耶華 令和7年4月1日採用

私が所属する第三病棟は、循環器・血液腫瘍科疾患の看護を行う病棟です。長期の入院を必要とする子どもたちが多く、豊富な知識を必要としますが、子どもたちの笑顔や治療に励む姿を支えることにやりがいを感じています。入職時は分からないことだらけでしたが、フレッシュパートナーをはじめとした先輩方からの手厚い指導や新人研修、子どもたちとご家族との関わりを通してできることが増え、充実した日々を送っています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q 県立病院で働こうと思った理由を教えてください。

A 子どもたちが大好きであったこと、実際に県立病院を訪れ、治療を支えながら子どもたちの成長発達をご家族と共有し、喜び合う姿を見て小児看護の魅力に気づき、先輩方とともに働きたいと思いました。県立病院では充実した教育システムがあり、入職時から安心して看護の基礎と専門的な知識・技術を身に付けることのできる環境だと感じ、県立病院を志望しました。

Q 実際に働いて感じた県立病院看護の魅力教えてください。

A 新人研修が充実しており、同期と悩みや成功体験を共有しながら一緒に成長できる環境です。また、フレッシュパートナーを中心とした病棟の先輩方の手厚いサポート、疑問点を質問しやすい雰囲気、新卒でも安心して働くことができています。

“ともに深め ともに高め合う” 看護の専門性

私たちが大切にしたい看護の専門性

看護実践の基礎から専門分野へとともに看護を深め、高め合い、人として豊かな感性を持ち魅力的で輝き続けられる看護職員をめざします。

4病院の専門性の強みを活かした

心臓血管センター

看護部の紹介

看護部の 理念

3つのハートを大切に心のこもった看護を提供いたします。



専門的な学習サポート

- 心電図・不整脈研修 ●急変時対応 ●心臓リハビリテーション看護
- フィジカルアセスメント
- 事例アセスメント(胸痛のある患者、呼吸状態が悪化した患者) etc



心電図研修



急変時対応研修

専門資格を活かして活躍

認定看護師からのメッセージ



集中ケア認定看護師
高橋 重雄

集中ケアを行う中で大切な事は、数値やデータを読むだけでなく、患者さんの小さな変化に気づくことです。「何となく変」といったことでも、急変の予兆として重要なこともあります。私たちはこの「気づき」の感性を養えるようベッドサイドでの関わりを大切にしています。集中ケアの領域は、急性期の“今”だけではありません。患者さんとその

家族の“これから”をも支えるためにも、看護師は広い視点を持って考えることが必要です。私たち認定看護師は、スタッフ一人ひとりが自信を持って看護に向き合えるように研修の実施や相談対応等、環境づくりに取り組んでいます。

資格を活かしています

- 認定看護管理者
- 認定看護師
- 心臓リハビリテーション上級指導士
- 人工心臓管理技士認定士
- 糖尿病療養指導士
- 呼吸療法認定士
- ICLSインストラクター
- 骨粗鬆症マネージャー etc
- 看護系大学院修了者



心臓リハビリテーション指導士
蛭沼 久美子

心臓リハビリテーションでは、患者さん一人ひとりの生活背景や行動特性を踏まえた個別性の高い支援を行っています。そして、他職種と連携しながら、患者さんの思いに寄り添った継続可能な運動・生活指導を行い、再発予防とQOL向上を目指しています。

県立病院の 看護職としての専門性

県立病院は、4病院の専門性の強みを活かした安全・安心な看護の提供をめざしています。それぞれの分野で専門看護師・認定看護師・大学院修了生、有資格者などが活躍しています。

専門看護師

専門看護師は、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を担っています。

複雑な問題を抱える患者さんやご家族及び地域の方々に対して、より良い看護・医療の提供ができるように、専門分野の専門知識・技術を活かして活動しています。

認定看護師

認定看護師は、実践・指導・相談の3つの役割を担っています。日々の看護実践の中で、相手の立場に立ったわかりやすい指導を心掛けています。院内の横断的な活動や研修にも携わり、専門知識をいつでもスタッフに提供できるよう活動しています。

安全で安心できる質の高い看護の提供

がんセンター

看護部の紹介

看護部の 理念

私たちは、病院の理念と基本方針に基づき、思いやりの心で看護サービスを提供します。



専門的な学習サポート

- がん看護の基礎
- 手術療法
- 放射線療法
- 化学療法
- 疼痛緩和
- ELNEC-J コアカリキュラム
- がんサバイバーシップ
- 看護倫理 etc



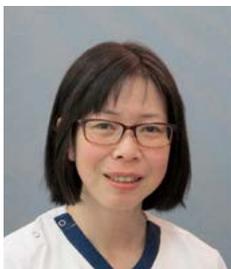
接遇研修



ストーマケア実技研修

専門資格を活かして活躍

専門看護師からのメッセージ



がん看護専門看護師
木村 香

安心して治療に 臨めるように

外来で治療方針の面談に同席、入院予約の時に手術オリエンテーション等を行い、また不安のある患者さんや家族の気持ちを傾聴し、意思決定支援とその情報を入院する病棟や関係部署へ連絡・調整を図り、安心して治療に臨めるよう援助をしています。院内外の教育活動にも関わり、がん看護の質の向上に努めています。

資格を活かしています

- 専門看護師
 - がん看護
 - 精神看護(リエゾン)
- 認定看護師
 - 緩和ケア
 - 乳がん看護
 - 感染管理
 - 皮膚・排泄ケア
 - がん放射線療法看護
 - がん化学療法看護
 - 手術看護

患者さん自身が乳癌の性質や特徴を理解し、納得のいく治療やケアが受けられるよう医療者間とのコーディネーターの役割を担っています。また社会とのつながりやその人らしく生活することを一緒に考えています。



乳がん看護認定看護師
松木 美紀

- 認定遺伝カウンセラー®
- 栄養サポートチーム専門療法士
- リンパ浮腫療法士
- 臨床輸血看護師
- 呼吸療法認定士
- 終末期ケア専門士 etc
- 看護系大学院修了者

“ともに深め ともに高め合う” 看護の専門性 私たちが大切にしたい看護の専門性

看護実践の基礎から専門分野へとともに看護を深め、高め合い、人として豊かな感性を持ち魅力的で輝き続けられる看護職員をめざします。

4病院の専門性の強みを活かした

精神医療センター

看護部の紹介

看護部の 理念

私たちは、社会の多様なニーズに応じたよりよい医療をめざすと共に、豊かな人間性を身につけ、心の通い合う看護を提供します。



専門的な学習サポート

- 精神保健福祉法の概要
- 医療観察法の概要
- コミュニケーション技術
- 治療構造論に基づく看護
- バーチャルセデーション体験
- 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)
- WEB研修 etc



バーチャルセデーション体験



SST(社会生活スキルトレーニング)研修

専門資格を活かして活躍

認定看護師からのメッセージ



精神科認定看護師
中里 美幸

精神科認定看護師の役割

精神科3次救急病院として中核的な役割を担っている当センターは、重度の精神疾患患者が入院しています。スタッフには、高いケア提供力と倫理的感受性、そして多職種との連携を円滑に進める力が求められます。認定看護師は、患者さんの尊厳を守り、権利擁護を大切にしながら、その人らしい生活が送れるよう支援する役割を担っています。高度な専門知識と技術を発揮し、自らがロールモデルとなって看護の質向上に努めています。

資格を活かしています

- 認定看護管理者
- 認定看護師
 - 精神科
 - 認知症看護
 - 摂食・嚥下障害看護
 - 感染管理
- CVPPP インストラクター
- CVPPP トレーナー
- DPAT インストラクター
- WRAP ファシリテーター
(ラップ：元気回復行動プラン)
- 転倒予防指導士 等



摂食・嚥下障害看護認定看護師
井野 充彦

嚥下ラウンドや嚥下に関するコンサルテーションを中心に、食事の摂取状況や嚥下機能を評価し、誤嚥性肺炎や窒息、栄養低下、脱水などの予防のための介入を行っています。また、多職種と協働し、口から安全に食べられるよう検討・支援しています。
栄養に関する看護ケアの教育・指導及び相談も行っています。

CVPPP(包括的暴力防止プログラム)は常に当事者中心に考えケアするという理念を持つプログラム。対象者だけでなく関係するすべての人々の心の安全を守るためのケアを学びます。

県立病院の 看護職としての専門性

県立病院は、4病院の専門性の強みを活かした安全・安心な看護の提供をめざしています。それぞれの分野で専門看護師・認定看護師・大学院修了生、有資格者などが活躍しています。

大学院に進学

キャリアアップの支援として、「修学部分休業制度」を利用し、仕事を部分的に休業しながら大学院に進学することができます。働きながらの学びは、臨床現場の疑問を研究活動につなげたりすることができます。

その他 学会・研修会の参加

学会や研修会に参加し、専門分野の看護実践や管理に必要な知識・技術を身につけることができます。

安全で安心できる質の高い看護の提供

小児医療センター

看護部の紹介

看護部の 理念

あたたかな心で患者と家族を支えます。



専門的な学習サポート

- 子どもの権利と倫理
- 子どもの観察方法
- 小児の医療安全
- 感染対策
- 子どもと家族のケア
- 小児の栄養管理・口腔ケア
- 呼吸理学療法
- フィジカルアセスメント
- BLS



口腔ケア



フィジカルアセスメント

専門資格を活かして活躍

認定看護師からのメッセージ

危急の状態やその状態に陥る可能性の高い子どもと家族に対して、子どもの権利を尊重し多職種と共に子どもの最善の利益を目指した看護を行っています。日々の直接的な看護ケアだけでなく、院内スタッフへ急変対応指導や救急カーットの整備、退院する子ども達が安心して日常生活を過ごせるように家族や院内スタッフに向けて在宅でのケア指導も行っています。その他、成長・発達を踏まえた基本的な子どもの看護やフィジカルアセスメントなど院内スタッフ研修にも関わり、子どもや家族が安心して入院生活を送れるよう組織横断的に活動しています。

小児救急看護認定看護師
木島 久仁子

そのほか、成長・発達を踏まえた基本的な子どもの看護やフィジカルアセスメントなど院内スタッフ研修にも関わり、子どもや家族が安心して入院生活を送れるよう組織横断的に活動しています。

資格を活かしています

- 認定看護管理者
- 専門看護師
がん看護
- 認定看護師
新生児集中ケア
小児救急看護
緩和ケア
感染管理
皮膚・排泄ケア

子どもと家族のサポートチーム(緩和ケアチーム)の一員として活動を行っています。小児の緩和ケアの特徴はがんの子どもだけでなく、非がんの子どもやその家族も対象になることが多く、終末期だけでなく治療中から子どもとご家族をサポートするために多職種と連携しながら活動を行っています。

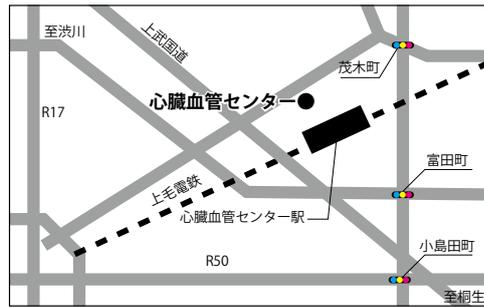
- 新生児蘇生法(NCPR)
- 国際認定ラクテーション(母乳育児支援)
- NICU退院支援コーディネーター
etc
- 看護系大学院修了者



緩和ケア認定看護師・
がん看護専門看護師
石関 梨華

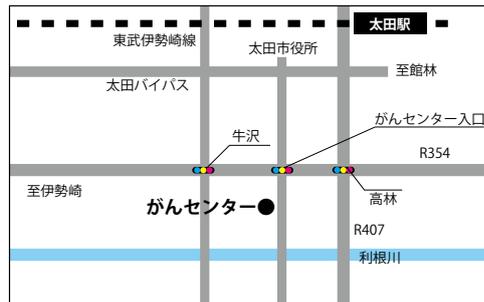
心臓血管センター

前橋市亀泉町甲3-12 TEL.027-269-7455
<https://www.cvc.pref.gunma.jp/>



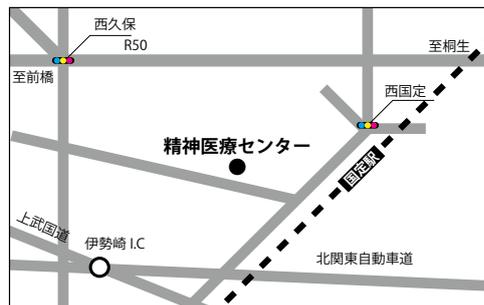
がんセンター

太田市高林西町617-1 TEL.0276-38-0771
<http://www.gunma-cc.jp/>



精神医療センター

伊勢崎市国定町二丁目2374 TEL.0270-62-3311
<https://www.pref.gunma.jp/site/seishin/>



小児医療センター

渋川市北橘町下箱田779 TEL.0279-52-3551
<https://www.cmc.pref.gunma.jp>



群馬県病院局経営戦略課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
TEL.027-226-2710
FAX.027-221-8818
e-mail:bkeieika@pref.gunma.lg.jp

群馬県立病院の看護職採用情報はホームページでも公開中!
<https://www.pref.gunma.jp/page/178295.html>

